

がん医療フォーラム2017  
がん患者さんを地域で支える

# 市民が望むがん医療と福祉のかたちとは

**日時** 2017年10月29日（日）13：00 開始

**会場** ザ・クレストホテル柏 オークルーム

## プログラム

開会あいさつ 秋山浩保（柏市長）  
辻 哲夫（正力厚生会理事長）

総合司会・進行 渡邊清高（帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 准教授）

第1部 シンポジウム『がんとの共生 市民が望む医療・福祉のあり方を考える』  
モデレーター 長瀬慈村（柏市医師会副会長）・渡邊清高

がん患者さんとお家族を支える情報づくりと地域づくり  
渡邊清高

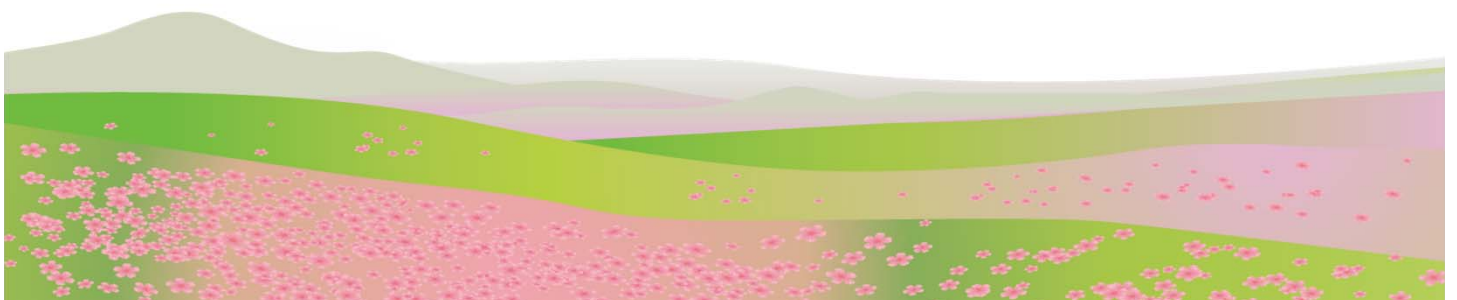
がん相談支援センターの立場から－患者さんの思いと経験をつなぐ－  
坂本はと恵

（国立がん研究センター東病院 がん相談支援センター 医療ソーシャルワーカー）

がん患者さんとお家族の「食べる喜び」を支える  
川口美喜子

（大妻女子大学家政学部教授 島根大学臨床教授）

休憩



第2部 フォーラム『がんになっても安心して住み続けることのできるまちづくり』  
モデレーター 古田達之（柏市医師会理事）・松倉 聡（柏市医師会副会長）

1. 在宅療養の現場から～事例紹介～

- 古賀友之 （主治医）  
和気江利子 （退院支援担当の病院看護師）  
植野順子 （ケアマネジャー）  
山口大輔 （薬剤師）  
片岡幸恵 （訪問看護師）

2. 各職種からのメッセージ

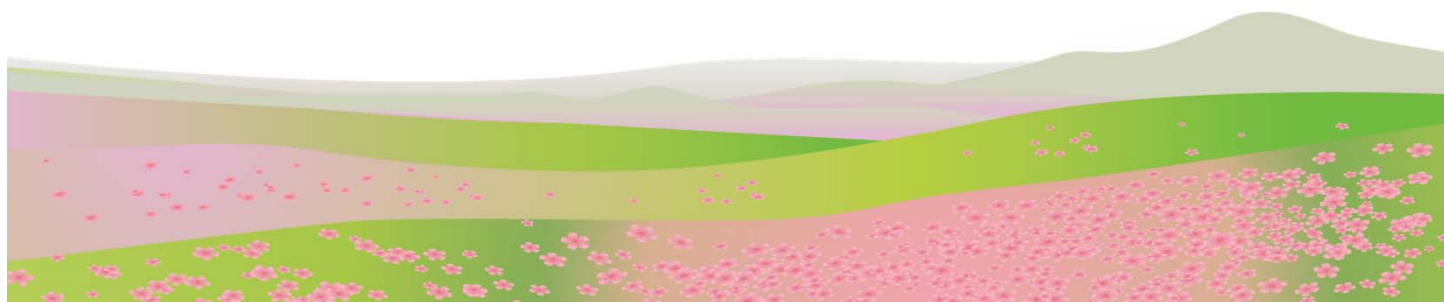
- 石橋正樹 （柏市医師会在宅プライマリケア委員会委員長）  
古賀友之 （柏市医師会在宅プライマリケア委員会委員）  
黒滝義之 （柏歯科医師会専務理事）  
餅原弘樹 （柏市薬剤師会）  
大熊智子 （柏市訪問看護ステーション連絡会会長）  
西田恭子 （柏市在宅リハビリテーション連絡会会長 理学療法士）  
梅津直美 （柏市介護サービス事業者協議会事務局 介護福祉士）  
坂本はと恵  
小林弘幸 （柏市介護支援専門員協議会会長 ケアマネジャー）  
小野田光芳 （柏西口地域包括支援センター センター長）  
今田さん （千葉県立東葛飾高等学校医歯薬コース 3年）

柏市の在宅医療・介護多職種連携の取り組み紹介と第2部のまとめ

---

閉会あいさつ 金江 清（柏市医師会会長）

---



## 主な登壇者紹介



### 渡邊清高（わたなべ きよたか）

帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科准教授（腫瘍内科・がん情報）  
1996年東京大学医学部卒。医学博士（消化器・肝臓内科）。  
内科、救命救急研修を経て、東京大学医学部消化器内科、国立がん研究センターがん対策情報センターを経て2014年より現職。地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報普及と活用プロジェクトリーダー。患者・家族、一般市民、医療従事者、研究者向けなど、がんに関する信頼できる情報発信と、現場のニーズに応じた普及の取り組みを実践しています。



### 長瀬慈村（ながせ じそん）

柏市医師会・副会長。1986年 群馬大学医学部卒業後、東京医科歯科大学第1外科入局、同乳腺班班長を経て、1998年 千葉県柏市に乳腺クリニック長瀬外科を開設。2000年～柏市医師会・理事、2010年～同・副会長。現在、柏市の保健衛生審議会、健康福祉審議会、在宅医療介護多職種連携協議会、いじめ問題対策連絡協議会等の委員、柏市社会福祉協議会理事、千葉県医師会・男女共同参画推進委員など。2011～15年には柏市議会議員として医療・福祉を中心に活動。資格としては、1983年 真言宗豊山派教師、1998年 日本乳癌学会専門医、2015年 千葉県地域災害医療コーディネーターなど。



### 坂本はと恵（さかもと はとえ）

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 サポートケアセンター／がん相談支援センター 医療ソーシャルワーカー  
精神科クリニックと国立がんセンター中央病院での勤務を経て、2004年9月に国立がん研究センター東病院に異動、患者・家族支援相談室の立ち上げに携わる。2014年4月にサポートケアセンター／がん相談支援センターに組織改組、2016年4月より副サポートケアセンター長。専門は社会福祉。日々、がん患者やご家族への相談支援に従事する傍ら、がん治療と仕事の両立に関する研究に携わっています。



### 川口美喜子（かわぐち みきこ）

1981年大妻女子大学家政学部、1993年島根医科大学研究生（第一内科）終了し、博士（医学）学位取得、1996年～2004年島根大学医学部附属病院第一内科文部教官、2007年特殊診療施設臨床栄養部 副部長に配置転換、2013年島根大学医学部附属病院を退職後、大妻女子大学（東京都）家政学部食物学科教授、島根大学医学部臨床教授 特別協力研究員、お茶の水女子大学講師（非常勤講師）。  
趣味はガーデニングと最近始めた書道です。がん患者さんの側において、栄養や食事のことを一緒に話せる時間をずっと大切にしていきたいと思っています。



## 古田達之（ふるた たつゆき）

1993年 東京医科大学卒業  
1993年 慶應義塾病院研修医  
1994年 練馬総合病院外科  
1995年 国立霞ヶ浦病院（現国立病院機構霞ヶ浦医療センター）外科  
1996年 慶應義塾大学病院一般消化器外科専修医  
2000年 古田外科胃腸科医院 副院長  
2008年より 古田医院 院長  
2011年より 柏市医師会在宅プライマリ・ケア担当理事



## 松倉 聡（まつくら あきら）

1993年東京大学医学部卒業。同大学第2外科入局。  
国立がんセンター中央病院勤務。  
東京大学医学部附属病院肝胆膵・人工臓器移植外科助教。  
2005年より、おたかの森病院院長に就任。  
日本外科学会専門医、日本肝臓学会専門医

## アンケートにご協力ください

フォーラム後半のパネルディスカッションにて、皆さまからのご質問をお受けいたします。  
お手元の【質問票】にお書きいただき、休憩時間内に、受付もしくは係の者にお渡しください。

また、フォーラムが終了しましたら、【アンケート用紙】にご記入いただき、  
出口の回収箱にご投函いただくか、係の者にお渡しください。

今後のこうした取り組みを全国に広げるための  
参考とさせていただきますので、  
ぜひともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

アン  
ケート  
用紙

質問票